

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	文教施設に関する整備指針等の策定	担当部局庁	大臣官房文教施設企画部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～なし	担当課室	施設企画課	施設企画課長 新保 幸一				
会計区分	一般会計	政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり Ⅱ－7 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティや地域の防災拠点としても重要な役割を担っていることから、充実した教育活動を展開できる機能的な施設環境を整えるとともに、快適で安全・安心な施設環境を確保することが重要である。このため、学校施設における安全性や快適性、教育活動への適応性等の確保の観点から学校施設を計画・設計する際の留意事項を検討し、その普及に努めることで、よりよい教育環境づくりを推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・現在、経年25年以上を経過した公立学校施設が約7割あるなど、学校施設の老朽化が深刻な状況となっている。このような状況を踏まえ、今後老朽化した学校施設の再生整備に取り組む自治体において、効果的に整備を進めることが可能となるよう、老朽化した学校施設の再生整備の在り方について有識者会議を設置し、検討を実施するとともに、成果を報告書として取りまとめる。また、その普及・啓発を図る。 ・また、老朽化対策をはじめ、耐震化、防災機能強化、多様化する教育活動への対応など学校施設が抱える課題全体について、地方自治体が総合的に検討を行い、計画的・効果的に整備を実施していくためのプロセス等について、有識者会議を設置し、検討を実施するとともに、成果を報告書として取りまとめる。また、その普及・啓発を図る。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		22年度		23年度	24年度	25年度	26年度要求
			当初予算	27	24	18	27	41
			補正予算	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	
	計		27	24	18	27	41	
	執行額		19	19	13			
執行率(%)		69.6%	78.3%	73.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	学校施設に関する整備方策の策定、及び、その普及・啓発を目的としており、定量的に数値で示すことは困難である。				成果実績			
				達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	報告書作成数 (学校施設の整備方策に関する報告書)			活動実績 (当初見込み)	冊	4	2 (4)	2 (2)
単位当たりコスト	調査研究の実施や学校施設の視察等、質が異なるものが含まれているため、統一した基準で「単位」として設定することは出来ず、1単位当たりのコストを記載することはない。			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		2.7百万円	2.5百万円				
	職員旅費		3.9百万円	4.9百万円				
	委員等旅費		4.9百万円	4.3百万円				
	庁費		3.8百万円	3.3百万円				
	教職員研修費		1.0百万円	3.8百万円				
	初等中等教育等振興事業委託費		10.5百万円	21.9百万円				
	計		26.8百万円	40.7百万円				

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	・教育委員会等の学校設置者との意見交換などの際にニーズの把握に努めているところであるが、学校施設の老朽化対策等に関する整備方策について示してほしいとの要望が多い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	・学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの拠点、また、地域の防災拠点としての役割を果たすことから、学校施設の安全性等の確保は極めて重要であり、今後の地方公共団体の学校施設整備に資するよう、今後の学校施設の整備方策を示すことは国として実施すべき重要な事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	・現在、経年25年以上を経過した公立学校施設が約7割あるなど、学校施設の老朽化は深刻な状況となっており、学校施設の老朽化対策は喫緊の課題である。このことから、当事業は、優先度の高い事業と考えられる。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	・費目、使途は、会議開催及び現地調査に必要な謝金・旅費、成果物の周知に必要な印刷・発送等に限定されている。 ・謝金を辞退した委員がいたことや、議題の整理による委員会の回数減、また、それに伴う事務経費の減少等により、不用額が大きくなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	・活動実績については、当初見込み通り報告書を作成しており、見込みに見合ったものとなっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	・当事業で得られた報告書（成果物）については、各都道府県・市区町村教育委員会等へ送付するとともに、広く一般にも利用できるよう、ホームページに掲載するなど工夫を行っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	・よりよい教育環境づくりを進めるため、学校施設に関する整備方策の策定を着実に進め、その成果を広く一般に情報発信している。 ・今後も、よりよい教育環境づくりを推進するため、学校施設に関する整備方策の普及・啓発を図る必要がある。 ・成果物の情報発信に当たっては、印刷物を抑え、教育委員会等の学校設置者にデータ配信する等の工夫を行い、予算削減に努めているが、更なるコスト削減のため、印刷物を最小限に抑える必要がある。					
外部有識者の所見						
本事業においては、よりよい教育環境づくりを推進するための学校施設に関する整備方策が策定され、その普及・啓発が図られていると認められる。しかしながら、より効果の高い事業とするため、今後は成果物の印刷物を最小限に抑えるなど、より一層のコスト削減といった改善を検討すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 改善 内容 の	1. 事業評価の観点：本事業は、老朽化した学校施設の再生整備の在り方について、また、学校施設が抱える課題全体について地方自治体が総合的に検討を行い、計画的・効果的に整備を実施していくためのプロセス等について有識者会議を設置し、検討を実施するとともに、成果を報告書として取りまとめ、その普及・啓発を図るものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映するほか、積算単価を再検証するなど、コスト削減に努めるべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	概算要求に当たり、成果物の印刷単価の見直しなどにより、▲0.4百万円反映した。					
備考						
当事業の成果物URL 「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/013/toushin/1331925.htm 「学校施設整備基本構想の在り方について」 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/013/toushin/1332263.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0139	平成23年	0031	平成24年	0024

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
13. 3百万円

・謝金	2. 0百万円	} を含む
・職員旅費	2. 3百万円	
・委員等旅費	4. 3百万円	
・庁費	4. 6百万円	

※庁費は消耗品の購入等であり、1件100万円以上の支出はない。
※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)